

内灘町生活安全対策協議会
平成 26 年度 第 1 回会議議事録（概要）

＜開 会＞

◆大徳 町民福祉部長 挨拶

一月十一日、当町が交通死亡事故ゼロ五百日を達成した。しかしながら、昨年十一月、金沢市内において、内灘中学校の生徒が交通事故に遭い、尊い命を失うという、悲惨な死亡事故も発生している。

治安の面については子どもの声掛けや、振り込め詐欺の被害もあったとお伺いしている。ついでには、内灘町の安全・安心のため、本日も皆様に忌憚のないご意見をいただきたい。

＜議題 1 内灘町の交通事故の情勢について＞

◆内灘町における交通事故の現状について（津幡警察署 杉森交通課長）

○内灘町の事故件数について

人身事故の発生件数は昨年 1 年間で 64 件、平成 25 年の 81 件、平成 24 年の 83 件と比べ、2 年連続で減少している。また死亡事故ゼロについては 500 日以上継続している。

○交通事故の傾向について

通勤・帰宅の時間帯に事故が多いのは県内の状況と同様だが、津幡警察署管内では、日中でも交通事故が多く発生している時間帯があり、内灘町についても、9、10、11 時に交通事故が多く発生している。また 14、15 時についても事故が多い状況。

○交通事故の形態について

内灘町では追突事故と出会い頭の事故が多い。これは県内の発生形態と同様だが、内灘町の特徴として多いのが、人対車という事故である。

事故の発生状況で津幡署管内に多いのは車と歩行者の事故であり、それに次いで高齢者の方が被害に遭う事故が多く発生している。これは内灘町も同様。

◆平成26年度中の内灘町における交通事故対策について（事務局）

今年度は高齢者の交通安全対策に重点を置くこととし、次の事業を実施した。また、昨年11月9日（日）、金沢市内において内灘中学校の生徒が自転車乗車中に交通事故に遭い亡くなるという事故を受け、中学生へ自転車交通事故対策を実施・検討している。

- 高齢者交通安全教室の積極的な開催
 - ・年度内にすべての地区で開催（予定）

- 個人医院、薬局等への夜光反射材の設置・配布

- 高齢者運転免許証自主返納支援事業の普及・啓発

- 中学生への自転車交通事故対策について
 - ・自転車マナーチラシの配布
 - ・来年度の自転車交通安全教室の検討

＜議題2 内灘町の治安情勢について＞

◆内灘町における治安情勢について（津幡警察署 森岡生活安全課長）

○犯罪認知件数について

内灘町は昨年1年間で89件の刑法犯の認知件数があったが、平成25年中は75件であり、14件の増加。津幡警察署全体で見ても増加傾向にある。

○犯罪の発生傾向について

全国的にも津幡警察署管内でも同様に、8割は窃盗犯。その中で住宅を狙った窃盗、車上狙い、自転車盗については、被害を受けるのは無施錠の場合が多く、施錠をすれば防げたと考えられる。施錠の徹底をお願いしたい。

また、昨年中に内灘町ではオレオレ詐欺、振込め詐欺の被害が出ている。

◆平成26年度中の内灘町における防犯対策について（事務局）

○内灘町の防犯対策について

内灘町では、現在、防犯と交通安全推進隊や防犯パトロール隊の皆様にご協力いただき、児童・生徒の登下校の見守りや地区の防犯パトロールを実施いただいている。特に防

犯パトロール隊は全地区をカバーする設置状況となっており、子どもたちへの声掛け等の犯罪に対し大きな抑止力になっていると考えられる。

町から情報の発信としては、内灘町安全・安心メールを配信し、また、ホームページ等で振り込め詐欺等への注意喚起を行っている。

○夏季における内灘海水浴場の防犯対策について

- ・夜間のパトロール強化として、津幡警察署にナイトパトロールを実施いただいた。

- ・警察、推進隊、地元町会と協力し、夜間のパトロールを実施した。

＜議題3 質疑・応答＞

委員：交通事故の発生時間別状況で、9時から11時に事故が多いのはどのような原因で発生しているのか。

津幡警察署：基本的には車の通行量に比例して事故が増える。津幡署管内では通勤・帰宅時間帯以外に移動して車が入ってくるということが言えるのではないかと考えている。

委員：医科大通りの交差点の事故が多いように思うが、不注意で信号を見落したり、考え事をしていたりということなのか。

津幡警察署：指摘のとおりで、安全確認を怠った事故が多い。

委員：内灘町でも交通事故の発生が多い場所はあるか。

津幡警察署：医科大通りは交通量が多く、事故は多い。また県道も道路交通量が多い幹線道路で事故が多い。

委員：やはりその場所でも高齢者の事故が多いのか。

津幡警察署：多い現状である。

委員：マルエーの前は高齢者の方が横断歩道を渡らず、道路を渡っているのを見かける。町で縁石等に「あぶない！わたるな！」という表示も

付けているが、そのような高齢者への対策はないか。

津幡警察署：横断歩道を渡って欲しいという指導はしているが、足腰の悪い高齢の方にはあまり無理も言えない。高齢者交通安全教室では、道路を横断する際は、一度立ち止まって左右の安全確認の徹底をお願いしている。

事務局：マルエーの前は、町では非常に危ないところだと認識している。近くに横断歩道はあるが、渡っていただけない。現在の対応としては道路の縁石に啓発文を貼付けすることや、付近の地区で高齢者交通安全教室を積極的に実施することとしている。

委員：反射材の配布というのは良いと思うが、反射材そのものは一般の方が購入したい場合はどこで売っているか。購入しやすいよう、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等で販売していただければと思う。

事務局：内灘町では今年度、薬局や医院等で無料配布している。またそれ以外にも交通安全の各種行事で、配布している。無料配布しているものについては、10月半ばから開始したが、概ね好評をいただいていると考えている。是非こちらをご利用いただきたい。

委員：先ほどのマルエー前の話で、横断歩道を設置すればとの話もある。横断歩道はどこが設置するのか。

津幡警察署：横断歩道は公安委員会なので、警察で設置することとなっている。

事務局：マルエーの前は正面には横断歩道はないが、付近に2箇所あるため、現状、新たな設置は難しい。今ある横断歩道で横断いただければ事故は起こりにくいと考えられる。

委員：昨年の夏場の海水浴場での事件、事故はあったか。

津幡警察署：正確な件数は出ていないが、置き引きが5～6件。その他の件数はあまりなかったように思われる。トラブル等で警察の出動はあるが、犯罪とはしていない事案となっている。

委 員：おぼれた等の救助といった案件はなかったか。

事 務 局：正確には把握していないが、確認しているのは、遊泳区域外で子供が遊泳中、海中から浮かび上がった際に止まっている水上バイクとぶつかったという案件があったと伺っているが、それ以外の水難事故はなかったと思われる。

委 員：犯罪の認知状況ですが、全て解決したのか。

津幡警察署：認知件数は検挙件数とは関連していない。全部が解決とは言い切れないのが現状。

<閉 会>